※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　芸術科

教科	芸術科	科目	(学)音楽表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌唱分野では、独唱、合唱に取り組みます。
・器楽分野では、ギター、キーボードに取り組みます。
・実技課題では個人で取り組むものの他、ペアやグループで取り組むものもあります。
・鑑賞の授業では、クラシック音楽を中心に、様々なジャンルの作品に触れる機会をもちます。

2　学習の到達目標

１．音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高める。
２．感性を磨き、音楽のよさや美しさを感じ取って、個性豊かな音楽活動の工夫ができる。
３・自己のイメージを表現するための技能を身につけ、それを生かして個性豊かに表現することができる。
４．音楽文化を尊重する態度をもち、創造的かつ主体的に鑑賞することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歌の楽しみ	・姿勢や呼吸、発声の基本を理解し、のびやかな声で歌う。 ・ハーモニーを感じながら、3部合唱をする。 ・曲の特徴や性格を捉え、ふさわしい表現になるよう工夫する。	a:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけ、創造的に表している。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱の音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:題材に関心をもち、学習に主体的に取り組もうとする。	・実技課題	・実技課題	・観察・聴取 ・振り返りシート
	キーボードアンサンブル	・キーボードの特徴を理解し、発展的な奏法を身につける。 ・パートの役割を意識しながら、音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫してアンサンブルの喜びを味わう。	a:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要なコードの知識を身につけ、創造的に表している。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、キーボードの音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:音色や奏法に関心をもち、学習に主体的に取り組もうとする。	・実技課題	・実技課題	・観察・聴取 ・振り返りシート
	オーケストラを楽しもう	・オーケストラについて学び、楽曲(ラヴェル作曲・ボレロ)を鑑賞する。	a:曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりついて理解する. d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 C:題材に関心をもち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート
2学期	ドイツ歌曲	・声の特徴を理解し、発展的な発声法を身につける。 ・ドイツ語について知り、言葉の持つアクセントを体感する。	a:曲想と音楽の構造との関わりを理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な発声法の知識を身につけ、創造的に表	・ワークシート ・実技課題	・実技課題	・観察・聴取 ・振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

			している。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、リズムによる音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:題材に関心をもち、学習に主体的かつ協働的に取り組もうとする。			
	舞台芸術に親しむ	・ミュージカル作品を鑑賞し、美術と音楽の融合を体験する。 オペラからミュージカルにつながる歴史を知り、それぞれの特徴を理解する。	a:曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりついて理解する. d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 C:題材に関心をもち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート
3学期	グループアンサンブルの楽しみ	・楽器の役割を意識しながら、音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫してアンサンブルの喜びを味わう。	a:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、創造的に表している。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、グループでの音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 題材に関心をもち、学習に主体的かつ協働的に取り組もうとする。	・実技課題	・実技課題	・振り返りシート ・相互批評

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度